

競合品目・競合企業リスト

申請品目	ポビバック ACAI 4	申請年月日	平成 25 年 7 月 26 日	申請者名	共立製薬株式会社
------	--------------	-------	------------------	------	----------

薬事分科会審議参加規程における、上記申請品目に係る競合品目、競合企業及びその選定理由は以下のとおりです。

	販売名 / 開発名	競合企業名
競合品目 1	牛異常産 AK・KB・AN 混合不活化ワクチン“化血研”	一般財団法人 化学及血清療法研究所
競合品目 2	“京都微研”牛異常産 3 種混合不活化ワクチン	株式会社 微生物化学研究所
競合品目 3	“京都微研”牛異常産-5	株式会社 微生物化学研究所

競合品目を選定した理由
<p>現在、市販されている牛異常産を予防する不活化ワクチンには、単味及び混合ワクチンが存在する。これら製剤の中で、販売され且つ本申請製剤に近い製剤として、一般財団法人 化学及血清療法研究所の牛異常産 AK・KB・AN 混合不活化ワクチン“化血研”、株式会社 微生物化学研究所の“京都微研”牛異常産 3 種混合不活化ワクチン、日生研株式会社の日生研牛異常産 3 種混合不活化ワクチン及び弊社のポビバック ACA の計 4 製剤がある。</p> <p>2012 年度及び 2013 年度の売上高では、牛異常産 AK・KB・AN 混合不活化ワクチン“化血研”が 1 位で約 2 億、“京都微研”牛異常産 3 種混合不活化ワクチンが 2 位の約 1.2 億であったため、この 2 製剤を競合品目として選定した。</p> <p>一方、本申請製剤の効能及び効果に記載されたイバラキウイルスによる異常産予防を含む製剤として 2011 年 10 月に承認された株式会社 微生物化学研究所の“京都微研”牛異常産-5 がある。本製剤は、2014 年 6 月時点において販売されていないものの、本申請製剤の効能及び効果に最も近い製剤であることから、3 品目目の本剤の競合品目として選定した。</p>

競合品目・競合企業リスト

申請品目	スワインテクト APX-ME	申請年月日	平成25年3月27日	申請者名	日生研株式会社
------	----------------	-------	------------	------	---------

薬事分科会審議参加規程における、上記申請品目に係る競合品目、競合企業及びその選定理由は以下のとおりです。

	販売名 / 開発名	競合企業名
競合品目1	ポーシリス APP-N	松研薬品工業株式会社
競合品目2	ポーシリス APP-N「IV」	株式会社インターベット
競合品目3	“京都微研”豚アクチノオイル3価ワクチン	株式会社 微生物化学研究所

競合品目を選定した理由
対象疾病が同じであるため。